

# 地方創生加速化交付金事業評価シート

担当課名	企画政策課	事業No.	2
------	-------	-------	---

事業名	子連れ就労応援プロジェクト事業		
目的	「子育て中の女性が輝ける町づくり」及び「地域ぐるみで子育てを行う仕組みづくり」の推進により、「安心して子どもを産み、育てられる環境」の整備を図り、移り住みたい・戻って住みたいまちの魅力づくりを目指します。		
実施内容	赤ちゃんが所属する団体及び町内小中学校と連携し「命の大切さ」を伝える授業「赤ちゃん先生クラス」を行う「赤ちゃん先生プロジェクト」を実施します。		
重要業績評価指標 (KPI)	指標	ママ講師登録者数	
	目標	6名	
	実績	8名	
達成度	A: 達成    B: 概ね達成    C: 未達成		

## 【事業費と財源内訳】

(単位：円)

	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費（平成28年度）	2,000,000	1,516,320	1,516,320	

## 【平成28年度の取組と課題】

H28は小学校2年生を対象に年5回開催しました。7～10人程度の児童に対し1人の赤ちゃん先生が配置され、毎回違ったテーマでグループワークを行いました。この授業では、子どもたちに、赤ちゃんが生まれ育つことのプロセスを知ってもらうことで、赤ちゃんを通して自分の成長や未来について考えてもらいました。また、自分や友達の「いのちの大切さ」を考えることは、自殺やいじめの防止につながり、自己肯定感の向上も期待できます。

中学校では3年生を対象に「命の奇跡&育児体験」をテーマで1回開催しました。妊娠・出産の話聞き、育児体験をすることで「親になることの意味」を伝えることができました。

また、このプロジェクトで先生となる赤ちゃん先生と母親を藍住町内で募集することで、子育てで心理的負担を感じている母親の社会参画の機会を創出するとともに、楽しく子育てできる仲間づくりを支援しました。さらに、赤ちゃん先生を通じて、地域の子供達とも親近感が生まれ、地域の中で声をかけあえる環境づくりにも繋がりました。

## 【今後の取組】

学校側からの強い要望により、今年度も町単独事業として引き続き赤ちゃん先生クラスを開催しています。1年を通じ、毎回同じ赤ちゃんが同じグループへ行くことで、愛着を覚え、成長を感じることができます。

また、講師となる母親には、報酬が出ており、仕事としてやりがいを感じながらの活動ができています。このように、子どもを預けて仕事に行くのではなく、子どもと一緒に仕事をするという、新しい就労形態の可能性についても考えていきたいと思えます。

今後は、赤ちゃん先生クラスだけでなく、母親が企画・運営するイベントの開催を支援し、町内の元気な女性を応援するとともに、子育て中の親子が楽しく集まれる場所を提供していきたいと考えています。

## ※藍住町地方創生推進会議意見

- ・小さいころからの子供にこのようなプロジェクトを受けると、感受性とか自己肯定意識が高まる。とてもいい取り組みだと思う。
- ・固定した多機能型子育て支援センターというものを作ってほしい。小さなお子様を連れてこられる、子育てを孤立化しない、世代別の交流、育児相談、近くに保健士さんがいて健康相談等、いつもそこに行けば広場があるという拠点の場を作って子育ての充実を図っていただけたら、子育てのしやすい町藍住がもっと確立していくと思う。
- ・町内の人材を活用し、いろんな企画をしてほしい。